

平成 30 年度横浜市病院協会事業報告

1 救急医療対策(公益事業)

- (1) 二次救急の拠点病院方式を中心とした横浜市救急医療体制に基づき、引き続き当協会及び会員病院は救急医療の提供に積極的に取り組んだ。

二次救急医療に対応する各病院の構成区分は、拠点病院Aが11病院、拠点病院Bが12病院、合わせて23病院、輪番参加病院数は28病院となっている。

加えて、病院協会として二次輪番応需（内科・外科・小児科）の必要な調整、とりまとめを行い、救急実績を集約して市に報告した。

(年度計)

拠点病院A	: 137,157 人	(前年度 138,979 人)
拠点病院B	: 89,224 人	(前年度 94,479 人)
輪番病院	: 6,602 人	(前年度 5,702 人)
小児救急拠点病院	: 31,731 人	(前年度 32,358 人)

- (2) 心疾患、脳血管疾患、産科、整形外科等の救急医療に取り組んだ。
- (3) 横浜市救急医療検討委員会に参画し、超高齢社会における救急医療体制の強化について検討し、提言としてまとめた。
- (4) ラグビーワールドカップ 2019 東京 2020 オリンピック・パラリンピック横浜開催推進委員会医療救護検討部会に参画し、医療救護体制等を検討した。

2 災害時医療対策(公益事業)

- (1) 横浜市災害医療連絡会議に参画し、災害時医療に対応する連携体制の確保を図った。
- (2) 各区に設置された災害医療連絡会議に会員病院が参加し、協議及び意見交換を行った。
- (3) 横浜市病院協会として、横浜市防災会議のメンバーに加わり横浜市における防災上の課題解決に取り組んだ。

3 医療情報の収集、発信及び広報(公益事業)

- (1) 協会のホームページ「ヨコハマ医療の扉」の効果的、円滑な運用に努めた。

[ホームページ運用状況]

ホームページアクセス数：153,681件(421件/日)

時間外診療受付病院診療所アクセス数：19,146件(52件/日)

- (2) 医療・保健・福祉に関する情報を随時、会員病院に提供した。

4 地域医療連携の推進(公益事業)

- (1) 医師会など医療関係団体との連携を強化する等、地域医療体制の充実向上を図った。
- (2) 横浜市在宅療養連携推進協議会に参画し、病院と在宅療養の連携強化策の検討を行った。
- (3) 横浜市ICTを活用した地域医療連携ネットワーク研究会に参加し、研究・検討を進めた。
- (4) 地域医療検討会(市内7方面別)を開催し、各医療機関間の情報共有や意見交換を行った。

開催回数：14回 参加医療機関：延296機関

5 行政、医療機関団体等との連携強化及び政策提言(公益事業)

- (1) 平成31年度横浜市予算編成についての要望書を提出した。
- (2) 横浜市保健医療協議会に参画し、医療行政に対して必要な提言や要望を行った。本年度は基準病床数の検討や病床整備事前協議に係る配分について積極的に関与した。
- (3) 横浜地域地域医療構想調整会議に参加し、市内7方面での地域医療検討会の状況を報告し、それらを踏まえて協会としての意見の反映に努めた。
- (4) 横浜市医療安全推進協議会に参画し、横浜市の医療安全窓口との連携強化を図った。
- (5) 横浜市認知症施策検討会に参画し、認知症の早期発見・早期対応について検討した。
- (6) 横浜市新型インフルエンザ等対策医療関係者連絡協議会に参画し、必要な提言や要望を行った。

- (7) 横浜市医師会の地域医療事業部会、医療福祉事業部会、勤務医事業部会において議論に加わるとともに、各夜間急病センター運営委員会に参画し、地域医療向上に向けた研究、検討を行った。
- (8) 県立病院機構、市立大学病院等公的病院の運営に係る委員会・幹事会に参加した。
- (9) 医療ツーリズムホスピタル（仮称）の開設に係る理事会決議を行い、神奈川県知事等に提出した。

6 学術研究、講演会及び研修会開催(公益事業)

- (1) 第20回学術講演会を開催した。
開催日：平成31年3月19日（火）
テーマ：「ネオ・メディシン 次世代ヘルスケアの創造」
講師：横浜市立大学コミュニケーションデザインセンター
センター長／特別教授 武部 貴則 氏
参加者：127人
- (2) 市民講演会を開催した。
開催日：平成30年11月29日（木）
テーマ：知っておきたい「お通じ」の話
～便秘、便漏れ、男女それぞれ～
講師：松島病院大腸肛門病センター
院長 黒水 丈次 氏
参加者：286人
- (3) 横浜市、横浜市医師会等との共催による「医療安全研修会」を3回実施した。
- (4) 横浜市看護職員認知症対応力向上研修を実施した。
研修修了者：187人

7 医療従事者の確保、定着促進(公益事業)

- (1) 看護専門学校において、奨学生等受け入れ希望病院による説明会を開催した。
開催日：平成31年3月11日（水）
参加病院：31 会員病院

8 看護専門学校の運営

(1) 学 生 数

(単位：人)

学 生	在籍者数 (平成30年4月1日)	退学者数	原級 留置者数	進級又は卒業生 (平成31年3月末)
1学年	76 (7)	3 (0)	6 (2)	67 (4)
2学年	86 (5)	4 (0)	8 (1)	74 (4)
3学年	70 (10)	2 (1)	0 (0)	卒業生68 (9)
総 数	232 (22)	9 (1)	15 (4)	208 (17)

() 内は内数で男性数

(2) 平成31年度入学試験結果

(単位：人)

受験区分		試験日	受験者	合格者	入学者	
特別 入試	高校生	指定校	平成30年10月25日	17	17	17
		公募校	平成30年10月25日	19	18	18
	学 士		平成30年10月25日	4	4	4
	社会人		平成30年10月25日	37	12	10
一般 入試	第Ⅰ期		平成30年12月 1日	50	25	23
	第Ⅱ期		平成31年 1月10日	43	9	8
計				170	85	80

(3) 第22回卒業生(平成31年3月卒業)の就職状況

(単位：人)

病院への就職		進 学	その他	卒業生合計
横浜市内	横浜市外			
63	3	0	2	68

(4) 第108回国家試験受験結果

(試験日:平成31年2月17日 合格発表:同年3月22日)

区分	受験者数	合格者数	合格率	(参考) 全国平均
新卒者	68人	68人	100.0%	94.7%
既卒者	1人	1人	100.0%	29.3%
合計	69人	69人	100.0%	89.3%

(5) 主な学校行事

年月日	行事名	人数
平成30年 4月 6日(金)	第24回入学式(1年生76人・保護者38人)	来賓 41人
6月 5日(火)	第1回学校説明会	参加者 15人
6月23日(土)	第2回学校説明会	参加者 64人
7月 3日(火)	第3回学校説明会	参加者 20人
7月31日(火)	第4回学校説明会・一日看護体験	参加者 117人
8月19日(日)	第5回学校説明会	参加者 126人
9月 4日(火)	第6回学校説明会	参加者 46人
10月 2日(火)	看護学生のつどい	2年生 86人
10月 6日(土)	第7回学校説明会	参加者 52人
10月20日(土)	平成31年度入学試験(特別入試)	受験者 77人
11月 7日(水)	第8回学校説明会	参加者 3人
11月 9日(金)	第24回戴帽式(1年生76人・保護者54人)	来賓 38人
11月17日(土)	第9回学校説明会	参加者 46人
12月 1日(土)	平成31年度入学試験(一般入試Ⅰ期)	受験者 50人
12月11日(火)	第10回学校説明会	参加者 14人
平成31年1月10日(木)	平成31年度入学試験(一般入試Ⅱ期)	受験者 43人
2月17日(日)	第108回看護師国家試験	受験者 68人
2月26日(火)	特別講演会 テーマ:「ダイバーシティを考える」 「おクジラさまふたつの正義の物語」上映会&ディスカッション 講師:竹原 直子氏 (株)インスパイアドプロデューサー 参加者233人	
3月 1日(金)	卒業式(3年生68人・保護者59人)	来賓 41人

(6) 学生募集の取組

- ア 平成30年5月18日に高校進路指導教諭を対象に学校説明会を開催した。(参加高校7校)
- イ 推薦入試指定校28校及び一般校18校の高校訪問を行った。
- ウ 受験志望者やその保護者が学校説明会に参加しやすいよう、新たに土日開催4回を含む10回の説明会を実施した。参加者は503人で前年度の2.7倍に増加した。
- エ 民間事業者主催する進路ガイダンスに6回参加し、高等学校及び予備校等に出向き学校説明を行った。
- オ 本校ホームページによる学校情報の発信を行った。

(7) 看護師国家試験対策

- ア 早期からの看護師国家試験模擬試験を実施した。(3年生10回、1、2年生各1回 計12回)
- イ 看護医療系学校受験対策の専門講師による学内補講を9日間実施した。
- ウ 学力強化が必要な学生を対象に学内教員ゼミを実施するほか、民間の予備校講座の活用を図った。
- エ 既卒受験者への個別相談や国家試験対策の指導を行った。
- オ 専任教員の国家試験対策力を向上させるため、国家試験対策セミナーを受講した。

(8) 会議・委員会・研修会

- ア 学校運営会議を12回開催した。
- イ 職員会議を12回開催した。
- ウ 講師会議を平成31年3月19日に開催した。
- エ 実習施設連絡会議を平成31年3月20日に開催した。
- オ 入試委員会を17回開催した。
- カ 学校評価委員会を7回開催した。
- キ 防火・防災対策委員会を4回開催した。

ク その他にカリキュラム委員会、実習委員会、学生指導委員会を開催した。

ケ 実習指導者夏期研修会を平成30年8月21日に開催した。

9 収益事業(収益事業等)

- (1) 看護職者賠償保険の取りまとめを行った。
61 病院；延 3, 297 人
- (2) 看護専門学校隣接駐車場の管理運営を行った。
- (3) 看護専門学校過去入試問題集の販売を行った。
- (4) 横浜スタジアム医務室の診療受託事業を実施した。

10 医療従事者の顕彰、福利厚生の実施(収益事業等)

- (1) 随時、会員の慶弔に協会として対応した。
- (2) 会員の親睦に係る懇親会、新年祝賀会を開催した。
- (3) 協会から神奈川県、横浜市に対して表彰の推薦を行った。
- (4) 会員病院が開催する市民公開講座等に対し支援を行った。
(11 病院)
- (5) 協会報第 61 号、第 62 号を発行した。
- (6) 協会ニュース速報を 11 回 (NO. 239～NO. 250) 発行した。

11 管理運営その他(法人)

- (1) 会員数 (平成 31 年 3 月 31 日現在) : 108 病院
- (2) 第 69 回定時総会を平成 30 年 6 月 27 日に開催した。
総会においては、平成 29 年度の事業報告・決算が審議され承認された。また、役員の変更を行った。
- (3) 理事会を 13 回 (臨時開催含む) 開催した。
- (4) 常任理事会を 9 回開催した。
- (5) 部会等の開催
救急医療、地域医療、教育・研修等にかかる各種部会を必要に応じ、随時開催した。
- (6) 訴訟関係
平成 27 年 3 月 6 日、神奈川健康福祉経営協同組合外 1 名から提訴された当協会を被告とする滞納金等支払請求事件については、平成 31 年 3 月 20 日東京高等裁判所における控訴審判決により、当協会の勝訴が確定した。